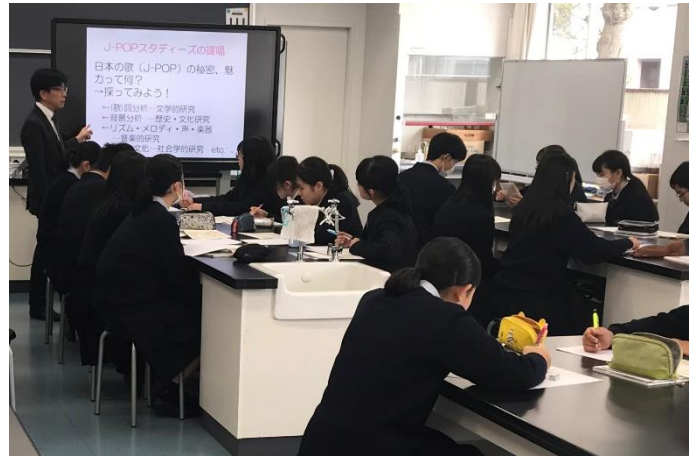
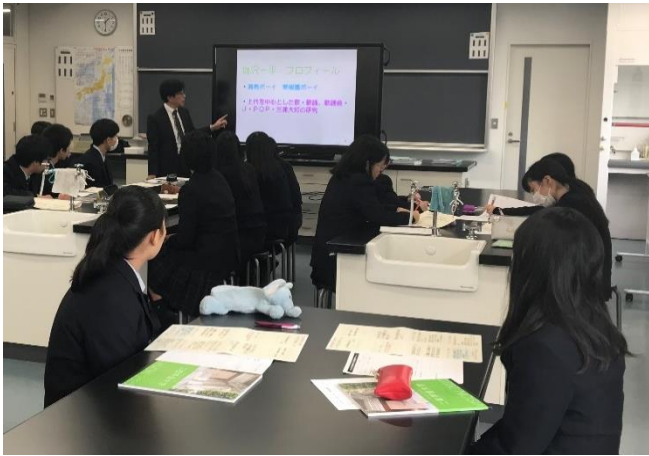


○二松学舎大学 塩沢一平教授による講義の様子と生徒の感想



講義名：「J-POP スタディーズ……日本の歌を総合的に考え・楽しむ」

☆生徒から講師の先生へのお礼と感想

1年 W.Yさん

先日は横浜清風高校に「模擬授業」をして頂きありがとうございました。今回の授業を通じて文学には様々な研究対象があることに驚きました。

私も「三浦大知さん」の歌が好きなので、三浦大知さんの歌が文学的に解釈するとどのような結果が出ているのか知りたいと思いました。また、私には他にも好きな歌手がいるので、好きな歌手が歌っている歌は文学的に解釈をするとどのようなリズムがあり、なぜこんなにも心に響くのか研究してみたいと思いました。

今回の授業の経験から、自分の好きなことを研究対象にして良いことをしました。私はこの高校3年間で自分が没頭し、研究できる何かを見つけたいと思います。

今回は「模擬授業」をして頂き、本当にありがとうございました。

1年 H.Kさん

私は本を読むのが好きで、文学という分野に興味があり、この授業を選択しました。まさか授業でアーティストの曲を聴き、その歌詞について考える授業だとは思っていませんでした。とても新鮮で興味深かったです。小学校・中学校・高校では歌詞の意味を深く研究されている先生に未だ出会ったことが無いため、大学は専門性の高い授業を受けることができました。

また、最初は友達同士でグループになり座っていたのですが、塩沢先生が「座席をランダムに分かれる」とおっしゃった時少し緊張しました。

座席をランダムに分かれた後、いざ、思い切ってお互いの意見を共有してみると、自分とはまた違った新しい視点からの意見が知ることができて面白かったです。

あまり接点のない人達同士だからこそ正直な意見が話せる、という部分はあったと思います。

二松学舎大学の国文学科は世界一大きいということであり、様々な分野の教員に出会うことができるとおっしゃっていました。世界一大きい学部であることから、J-Pop スタディーズのように、一見思いつかない学問分野が自分に合った進路となる可能性を感じました。

三年生の受験の時期までに他にも色々な講座などを体験し、自分が「本当に学びたいこと」を見つけたいと思いました。

今日はとても面白い授業をしてくださり、本当にありがとうございました。